

県庁舎耐震化に係る大規模施設建設事業評価について

1 大規模施設建設事業評価の対象事業

県庁舎耐震改修事業（本庁舎（本館））

2 事業内容

(1) 耐震化予定建物

建 物 名	本庁舎(本館)
場 所	岡山市内山下二丁目4番6号
竣工年月日	昭和32年1月(1957年)
建 築 面 積	2,321.20㎡
延 床 面 積	19,940.23㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造り(SRC)
階 数	地下1階、地上9階

(2) 耐震化の内容

構造体の耐震安全性確保	免震工法(地下1階柱部分への免震装置設置)
内装材の不燃化	
火災報知設備更新	
家具等転倒防止	
省コスト、省エネ化	節水型トイレ、高効率型照明器具等
UD化	エレベータ更新、多目的トイレへの改修、OAフロア等
エコ化	屋上緑化、雨水利用等
仮設庁舎建設	

3 総事業費

約49億円

4 耐震化計画

区分 \ 年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
実 施 設 計				
仮 設 庁 舎 建 設				
耐 震 化 工 事				

5 県庁舎の耐震化計画

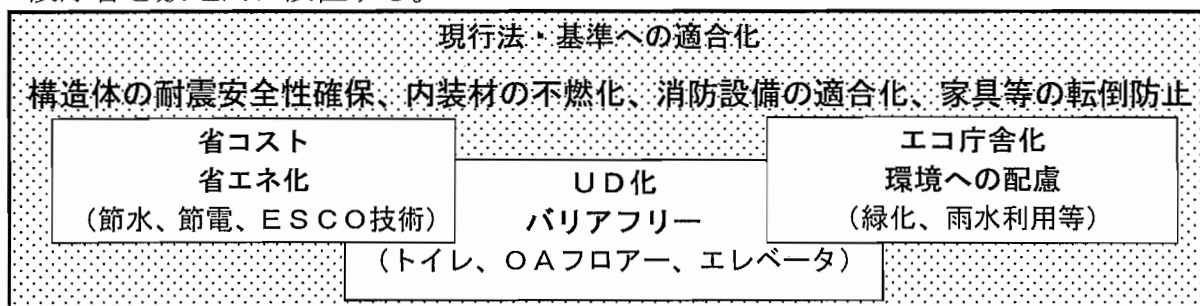
(1) 耐震化の必要性

「建築物の耐震改修の促進に関する法律」に基づいて定めた「岡山県建築物耐震対策等基本方針」により県庁舎（本庁舎、西庁舎、南庁舎、議会棟）の耐震診断を実施した結果、本庁舎（本館）、西庁舎、南庁舎、議会棟（旧館）は、大地震時（震度6以上）で倒壊・崩壊の危険性があり、防災拠点施設としての機能が失われ、多大な人的被害が想定されている。このことから、最も耐震性能が劣っていた西庁舎は、平成15～16年度に構造体の耐震安全性確保を行ったところであるが、対象となるすべての建物について、耐震化を進めていく必要がある。

(2) 耐震化の内容

現県庁舎は、今後とも本県における大規模地震等の災害時に防災拠点ともなる施設であるため、庁舎の機能・安全性の確保に不可欠な、構造体の耐震安全性確保・内装材の不燃化・消防設備の適合化・家具等の転倒防止を実施し、総合的な防災力の基盤強化及び安全性の確保を図るとともに、省コスト、省エネ化、UD化、エコ化に配慮した庁舎に整備するものである。

工事施工に当たっては、工事効率を上げ、工期短縮とコスト削減を図るため、仮設庁舎を敷地内に設置する。



(3) 耐震化計画

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
本庁舎（本館）	設計	仮設	構造体・不燃化		
本庁舎（東棟）				設計	転倒防止
西庁舎				設計	不燃化
南庁舎		改修計画	設計	構造体・不燃化	
議会棟（旧館）	計画検討	改修計画	設計	構造体・不燃化	
議会棟（新館）	計画検討	改修計画	設計	不燃化	

※19年度に議会棟UD化（エレベータ）工事施工中、県民ホール北トイレのUD化を試験的に実施。20年度に屋上緑化を実施予定。

大規模施設建設事業評価について

1 今回事業評価を実施する事業

県庁舎耐震改修事業（本庁舎（本館））

2 今後の日程等

11/ 6（火）	事業評価委員会（10:00 ～）
11/15（木）	常任委員会で事業評価委員会意見の説明
11月中旬～ 12月上旬	事業評価調書の公開・県民意見の募集
12月上旬	総合評価書のとりまとめ
12月中旬	常任委員会で総合評価書の説明

3 平成19年度事業評価委員会委員（50音順）

今井 真貴子	旅館「御園」専務
江尻 博子	岡山県商工会議所女性会連合会会長
小川 洋	公認会計士
末長 範彦	岡山県経営者協会会長
多胡 幸郎	合資会社多胡本家酒造場代表社員
中村 良平	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授